

従業員類型別教育訓練コース及び教材開発

～中年期のための向上訓練コース開発～

従業員類型別教育訓練コース
及び教材開発プロジェクト

序 文

第四次職業能力開発基本計画では、経済社会情勢の急激な変化を背景に、労働者が求め、また労働者に求められる職業能力に大きな変化が生じており、全職業期間にわたる職業能力開発を総合的かつ計画的に促進する体制の確立が強調されている。

この基本計画に応えるためには技術進歩、労働力の高年齢化、女子の職場進出等社会の変化に対処して労働者の職業生涯の全期間を通じて教育訓練の推進を図る教育訓練システムの開発を行う必要がある。

本プロジェクト研究は従業員類型別にOff-JTによる訓練コースを設計し、在職労働者に対して教育機会を準備しようとするものである。

61年度のテーマとしてとりあげたのは中高年齢者の活性化のための教育訓練問題である。ME化に代表される生産状況の変革の中で、中高年齢者にどのような職業能力の開発が求められているのかを検討し、中高年齢者に期待されている教育訓練、つまり中高年齢者の活性化に結びつく中年期のための教育訓練コース開発を試みたものである。具体的な作業は職種として機械系を取り上げ、地域としては山梨県を選んでニーズ調査を行い、山梨技能開発センターの向上訓練コースとして設計することとした。

なお、本報告は実践編と理論編に分かれており、実践編では今年度のテーマである中年期のための向上訓練コース開発の基本考察から実践計画までを報告し、理論編ではコース実践へ向けての理論づけをおこなっている。

本報告が、今後の職業能力開発の実践面において一助となるならば幸いである。

研究活動にあたって貴重な御意見を頂いた次の方々に厚く謝意を表する次第であります。

天谷 正（日本文理大学教授）

坂城町商工会

坂口 茂（元日立研修所部長）

荏原製作所

山梨県内機械系企業各社

山梨技能開発センター

大宮商工会議所

昭和62年3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷敏夫

研究メンバー

1. 研究委員

渡井道輔（山梨技能開発センター 機械科）

相川文英（山梨技能開発センター 機械科）

2. 職業訓練研究センター

開発研究部

若林俊治（建設木工系研究室室長）

柿栖 昇（建設木工系研究室研究員）

八木高行（手工職種系研究室研究員）

基礎研究部

戸田勝也（訓練適応研究室室長）

小原哲郎（訓練需要研究室研究員）

北垣郁雄（訓練教科方法研究室研究員）

訓研調査研究資料

第79号

従業員類型別教育訓練コース及び教材開発
～中年期のための向上訓練コース開発～

発行 1987年3月

発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏夫
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911 (代)

印刷 (株) ワーク1
相模原市中央2-8-9
電話 0427-58-6091